



とべだより

令和3年2月26日

3月号

横浜市立戸部小学校



たくさんの感動をありがとう

学校長 保科 優子

学校の臨時休校から始まった今年度。やっと子どもたちが学校に戻ってきたのは6月、分散登校からのスタートでした。これから先どうなるのかと心配しつつ、いつまでもこのような状況が続くわけではない、夏ごろになればこれまでの生活に戻るのではないかと期待していました。気が付けば今年度も残り1か月。今年度はずっとマスクをつけたままの生活になってしまいました。さらに、二度目の緊急事態宣言。3月には、授業参観をしていただきたいと思っていましたが、結局それも叶いませんでした。

そうした1年ではありましたが、戸部小の子どもたちは、そんなことでは動じません。例年通りにできない中でも、子どもたちはいつも輝き、頑張り続けた1年でした。そうした子どもたちの輝く姿に、たくさん感動をもらいました。

2月12日に行われた「とべとべファンタジー2020」。今年は分散登校での開催になりました。発表している子どもたちにとっては、お客さんが少ないと感じたこともあったでしょうが、どのクラスも子どもたちは一生懸命頑張りました。今まで取り組んできたことをどのように発表したら聞いてくれる人に伝わるのか、それぞれのクラスで子どもたちが真剣に話し合い、発表の仕方を考えたことがよく分かりました。私もクイズに参加したり、動画を見たり、様々な体験をさせてもらったりしました。どのクラスも工夫していたので、内容がよく分かる楽しいものでした。もっとじっくりと見たかったのですが、とても時間が足りませんでした。

今年度最後の大きな行事は、卒業証書授与式です。コロナ以前のような卒業式はまだできませんが、「卒業」への思いは、6年生にとってはもちろんのこと、在校生、保護者・地域の皆様をはじめ、私たち職員にとっても特別です。今、6年生は、「卒業まであと〇日」と学級のみならず確かめ合いながら、一日一日を大事に過ごしています。

令和3年3月19日。今年度のような状況の中でも明るく一生懸命下級生を引っ張ってくれた6年生にとって忘れられない最高の「卒業」となるように、教職員一同、励まし、応援していきます。

令和2年度も、保護者・地域の皆様、関係者の皆様に、力強いご支援、ご協力をいただきました。心より感謝を申し上げます。引き続き、どうぞよろしくお願ひします。